

山行報告書

京都田辺山友会

報告者

山下

山名	雲取山（京都北山）911m	山行名	例会
ルート	花脊高原バス停（登山口）—寺山峠—ハカリ峠—北峰—雲取山—谷—寺山峠—登山口		
山行日	2024, 5, 11(土)	天候	快晴
参加者	リーダー： 山下 サブリーダー：竹原(順) 男性： 木田、佐々木、西川、吉川、中西（入会予定） 女性： 伊藤(多)、染矢、高山、竹原(絹)、 合計：11名		

ルート概略図	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	松井山手	集		北峰	着	10:37
		発	6:30		発	11:30
	登山口	着	8:10	雲取山	着	11:50
		発	8:30		発	11:55
	寺山峠	着	9:22	1・2谷出会	着	12:53
		発	9:30	1の谷右折へ	着	13:35
	京産大小屋	着	10:04	寺山峠	着	13:45
					発	13:50
	ハカリ峠	着	10:20	登山口	着	14:20
		発から	10]27	松井山手	着	16:30

昨年 10 月に同じ雲取山に登り、その時の感想で九輪草の咲く 5 月に再度訪ねてみたい山だった。前回参加の 5 人と初参加の 6 人。内一人は入会希望の方。ツリ名人 2 名、膝痛一人、游軍 2 名の体制。快晴に恵まれて満開のクリンソウを夢に見ながら登山開始。寺山峠への行く途中、スキー場の横の道沿いに見ごろの一番花を発見。後半の一の谷周辺での出会いを期待していたが、早速の出向いに皆さん歓声を上げる。

寺山峠からは前回と違い展望の良い尾根歩きを期待し、北東に伸びる林道をしばらく歩くと変形の 4 差路に出会う。手分けして一番急坂の道が登山道と判断し進み、テープや番号で正解を確認した。このルートはヤママップには無く、ヤマレコには紹介されている。途中、「ヤッホーポイント」が 2 ケ所あり、皆さん思いっきり叫ぶ。見つけにくい番号標識もある。途中小さなアップダウンを 3~4 回繰り返す。ダウンは小石で滑り易い。やがて、覚えのある雲取峠に着く。数分で展望が期待される北峰に到着。ここまで出会った方は 2 人で、我らの貸し切り状態。期待通りの展望で、贅沢にも休憩時間を 45 分とした。展望も良く、風も心地よく、45 分はアットいう間にすぎた。立命館大山小屋までは下りの急坂で N さんは重いロープを用意していただいたが、使うことはなかった。後ろ向き下降が必要なロープ場所もあり無事に下る。

ご褒美の九輪草の歓迎は立命館大山小屋あたりからが始まり、二の谷→一の谷と日当たりの良い所では動物の被害も受けずに咲き誇っていて、これぞ一生分に出会えた！！ 日陰には花盛りにはまだまだの株もあり、花を愛でる時期は結構長そうに思えた。

難路運転の運転手さん、参加の皆さんのご協力が無事に山行が出来、感謝です。

・ヒヤリハット；ありません

(感想)

木田

五月晴れの下、爽やかな風が吹き抜ける北峰（雲取山）から遠望する比良の山々、思わず歓声を上げてしまうクリンソウの群生。そして何よりも終始笑いの絶えない和気あいあいとした山行にいただいた、CLSLと同行の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

(感想)

吉川

昨年11月から腰と膝の故障で山登りを休止していましたが、今年初めての登山になります。花脊高原バス停から登り始めると、スキー場の跡を見て50年前来た事、若い頃を思い出しながら進むと、今回の目標のクリンソウの花園が一面に、色鮮やかなピンク色で咲き乱れ、出迎えてくれました。登り続ける間、北峰、雲取山頂上、青い空と北山の新緑などの、色々な素晴らしい風景を見ることが出来て感動しました。帰り道の沢のクリンソウの花道も続き、きれいでした。

久しぶりの山登り、皆さんに迷惑をおかけしないか心配でしたが無事に歩き続けることが、出来ました。今回、最高の天気にも恵まれて気持ちいい登山が出来ました。

ありがとうございました。

(感想)

高山

半年ぶりの雲取山。昨年秋に来た時にクリンソウ葉っぱの群生を見つけ、その時にYさんが「春になれば花が咲くから、また、来よう。」のお誘いを楽しみに参加させてもらいました。

登り始めて程なく一輪のクリンソウを発見！しばらくすると、まるでわたしたちの来るのを待ってくれたかのように（?!）クリンソウの群生に出迎えられました。途中も何度となく川のせせらぎの音を耳にしながらかりんソウのピンクの花に見とれ、青葉を通したグリーンの光線とその向こうに見える雲一つない青空に見とれ、春山を満喫することができました。

又、北峰では遙か彼方に見える山々を「あれは蓬莱山、あれは武奈ヶ岳。」と教えていただき、地理を実感しました。それらの山々を眺めながら昼食をとることができ、ゆったりできたのもよかったです。何度も渡る沢わたりにも適度に緊張しながらも、無事渡ることができて楽しかったです。

